第 208 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 ~~(案)~~

１．日時　　2012 年 3 月 15 日(金)　10:00～12:00
２．開催場所　　東京都市大学 渋谷サテライトクラス
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-10-7
３．出席者　　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

幹事団

長尾委員長(豊橋技科大)	○	田中(康)幹事(東京都市大)	○	関口幹事(住友電工)	○
高橋幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝) 記	○		

１号委員

岡下委員(昭和電線)	○	岡本委員(富士電機)	×	小林委員(日立製作所)	○
平野委員(東芝) 代理 今井	○	田中委員(ビスキャス)	○	中坊委員(日新電機)	×
菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	×	近藤委員(日本ｶﾞｲｼ)	○	穂積委員(豊橋技科大)	×
本城委員(三菱電線)	×	武藤委員(三菱電機)	×	千綿委員(日立電線)	○
蔵田委員(明電舎)	○				

２号委員

池田委員(原子力安全基盤機構)	○	岩本委員(東工大)	×	加藤委員(新潟大)	×
田中(祀)委員(早大)	○	本間委員(電中研)	○	永田委員(兵庫県立大) 代理 菊池	○

４．提出資料

番号なし　第 207 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録（案）
DEI-208-1　電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-208-2　A 部門編修委員会
DEI-208-3　「電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望」調査専門委員会 第 1 回議事録
DEI-208-4　第 11 回 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会 議事録
DEI-208-5　屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会 第 10 回議事録
DEI-208-6　電力設備の絶縁診断に関する技術伝承 調査専門委員会 設置趣意書案
DEI-208-7　調査専門委員会フォローシート（2012 年度計画）
DEI-208-8　平成 24 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定（最終案）
DEI-208-9　第 44 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウムについて
DEI-208-10　ISEIM 2014 について
DEI-208-11　ISEIM 開催チェック表

５．議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 207 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の確認を行い、承認された。

5-2. 名簿の確認（高橋幹事補佐）

資料 DEI-208-1 に基づき、委員の所属等について確認を行った。

- 東京都市大 田中幹事の役職が、2 号委員となっているので修正する。
- 委員長と 1 号委員の合計は、電気学会規定で 15 名が上限となっている。現在は、14 名であるが、今後、田中幹事が委員長となり、長尾委員長が 1 号委員となった場合、15 名となる。

5-3. A部門編修委員会（池田委員）

資料 DEI-208-2 に基づき、A 部門編集委員会での議事が報告された。

- 絶縁材料シンポジウムの特集号については、下記のように A 部門編集委員会で承認された。
    - 平成 26 年(2013 年)3 月号に、平成 24 年(2012 年)の絶縁材料シンポジウム特集号を掲載する。また、ゲストエディターは長尾委員長とする。
    - 平成 27 年(2014 年)2 月号に、平成 25 年(2013 年)の絶縁材料シンポジウム特集号を掲載する。
- 活性化資金の ISEIM 特集号への利用については、最終的に、国内からの論文については投稿料を一律半額とし、海外からの論文については、申請が間に合ったものについては補助することとする。
- 特集号などにおいて、ゲストエディターの権限を明確化するように調整している(過去に、査読者を決める権限が、論文委員からゲストエディターに委譲されず、混乱したことがある)。
- 平成 25 年(2013 年)の編修計画は、現在、協議中である。決まり次第、当技術委員会に関係のある内容について報告する。

5-4. 第 93 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会 出席報告（長尾委員長）

基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会(以下、A 部門運営委員会)議事内容において、当技術委員会に関係の深い事項が報告された。

- 「先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術」調査専門委員会の解散が承認された。
- 「屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術」調査専門委員会の解散が承認された。
- 「電力設備の絶縁診断に関する技術伝承」調査専門委員会 設置趣意書案については、調査専門委員会名と内容が一致していないとの指摘を受けた。このため、「技術伝承を目的とした電力設備の絶縁診断」調査専門委員会に、委員会名を変更することで承認された。
- 平成 26 年(2014 年)の A 部門大会は、信州大学での開催で決定した。

5-5. 「電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望」調査専門委員会 第 1 回議事録の報告（池田委員）

資料 DEI-208-3 に基づき、「電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望」調査専門委員会の議事録が報告された。委員の登録は 17 名であるが、第 1 回の出席者は 10 名であった。

5-6. 第 11 回 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会 議事録の報告（田中(祀)委員）

資料 DEI-208-4 に基づき、第 11 回 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会の第 1 回 議事録が報告された。技術報告単行本を作成中である。

5-7. 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会 第 10 回 議事録の報告（本間委員）

資料 DEI-208-5 に基づき、屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会 第 10 回 議事録が報告された。前調査専門委員会での技術報告が未提出であるが、原稿は揃っているので、早急に提出する。

5-8. 「電力設備の絶縁診断に関する技術伝承」調査専門委員会 設置趣意書案 について（長尾委員長）

資料 DEI-208-6 に基づき、「電力設備の絶縁診断に関する技術伝承 調査専門委員会 設置趣意書案が報告された。A 部門運営委員会で、「技術伝承を目的とした電力設備の絶縁診断」調査専門委員会に、委員会名を変更することで承認されている。

また、設置趣意書内の「MBD 委員会委員と若干名の委員の追加を予定」の記載で、「MBD 委員会委員と」を削除する。

5-9. 調査専門委員会活動状況の確認（田中幹事）

資料 DEI-208-7 に基づき、調査専門委員会活動状況の確認を行なった。

- 技術伝承を目的とした電力設備の絶縁診断
  - 設置を 2013 年 4 月、解散を 2016 年 3 月とする。
  - 現在、準備中である。
- 電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望
  - 幹事会を 2012 年 12 月 21 日に開催した。
  - 委員会を 2013 年 2 月 13 日に開催した。
- インバータ駆動モータコイルの絶縁評価法
  - 設置を 2013 年 1 月、解散を 2015 年 12 月とする。
  - 幹事会を、2013 年 4 月上旬に開催予定。
  - 第 1 回委員会を 2013 年 4 月中旬に開催予定。
- 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御
  - 2013 年 1 月 21 日に、委員会を開催した。
  - 次回委員会を、2013 年 3 月 21 日に開催予定。
- 「アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」に関する
  - 2013 年 2 月 4 日に、委員会を開催した。

- 2013 年 3 月 22 日の全国大会で、シンポジウムを開催予定。
- 2013 年 5 月 3 日に、研究会(信州大)を開催予定。

➢ 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術
- 2012 年 12 月 17 日に、第 11 回委員会を開催した。
- 2013 年 3 月 14 日に、第 12 回委員会を開催した。
- 技術報告単行本を作成中。

➢ 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術
- 2013 年 2 月 19 日に、第 10 回委員会を開催した。
- 2013 年 3 月 22 日の全国大会で、シンポジウムを開催予定。
- 整理委員会の設置する予定。

➢ PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発
- 技術報告は、ほぼ完成。

➢ 高分子材料と放射線の相互作用評価
- 技術報告を作成中。

➢ 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能
- 技術報告を作成中(99%完成している)で、幹事が編集中。

➢ 高電界電気絶縁における電荷挙動と界面
- 技術報告は転載許諾等の問題から、現在見直し中。

5-10. 平成 24 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定の確認（田中幹事）

資料 DEI-208-8 に基づき、平成 24 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(最終案)、及び、平成 25 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(0 終案原案 2)の確認を行った。

＜平成 24 年度(最終案)＞

➢ 平成 25 年(2013 年)1 月に福岡(九州大学伊都キャンパス)で、放電技術委員会，高電圧技術委員会と共催した研究会(テーマ：真空放電，気体放電，液体放電，放電・高電圧・材料一般)における当技術委員会の発表件数は 9.5 件であった。

➢ 平成 25 年(2013 年)2 月 13 日に東京(電気学会本部)で、電線・ケーブル技術委員会と共催した研究会(テーマ：劣化診断，機器・ケーブル絶縁一般)における当技術委員会の発表件数は 9 件であった。

➢ 平成 25 年(2013 年)3 月 15 日に、東京(東京都市大渋谷キャンパス)で開催した研究会(テーマ：国際学会報告，学際分野，絶縁一般)における発表件数は 10 件の予定である。

➢ 平成 25 年(2013 年)電気学会全国大会において、3 月 22 日午前に「屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術」のシンポジウムを、3 月 22 日午後に「アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」のシンポジウムを開催予定。

＜平成 25 年度(0 終案原案 2)＞

➢ 2013 年 5 月 31 に長野(信州大)で、研究会(テーマ：有機誘電体・導電性電気電子材料の最近の展開)を開催予定。

➢ 2013 年 6 月に東京にて技術委員会を開催予定。

➢ 2013 年 7 月 4，5 日に新潟で、電子情報通信学会との連催で研究会(テーマ：有機ナノ

材料，デバイス応用，一般)を開催予定。

- 2013 年 9 月に豊橋で、第 44 回電気電子絶縁材料システムシンポジウムを開催予定。
- 絶縁材料シンポジウムに続いて、若手セミナーを開催予定。
- 2013 年 11 月に秋田で、電線・ケーブル技術委員会との共催研究会(テーマ：ケーブルシステムの絶縁技術，トリー，トラッキング)の開催を検討する。
- 2013 年 12 月の研究会(テーマ：ナノコン，空間電荷)の開催は未定。
- 2014 年 1 月に、電子情報通信学会との連催研究会(テーマ：有機材料・一般)の開催を検討する。
- 2014 年 1 月に九州地区で、放電技術委員会, 高電圧技術委員会との共催研究会(テーマ：真空放電，気体放電，液体放電，放電・高電圧・材料一般)の開催を検討する。
- 2014 年 2 月に東京で、電線・ケーブル技術委員会との共催研究会(テーマ：劣化診断，機器・ケーブル絶縁一般)の開催を検討する。
- 2014 年 3 月に東京で、研究会(テーマ：国際学会報告，学際分野，絶縁一般)の開催を検討する。
- 平成 26 年(2014 年)全国大会のシンポジウムでは、「新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御」調査専門委員会から申請をしてもらうように、加藤委員にお願いする。

5-11. 第 44 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 開催報告について（高橋幹事補佐）

資料 DEI-208-9 に基づき、第 44 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウムの開催計画が報告された。

- 会場は、豊橋市民センターを候補とする。
- 招待講演者について、早急に検討する必要がある。
- 家田賞，矢作賞について、表彰委員会で早急に検討する必要がある。
- セッション構成について、2 号委員各位からのご意見を頂きたい。
- テクニカルツアー，バンケットなどについては、中京地区の委員と相談したい。
- 若手セミナーについては、実行委員会を編成する必要がある。候補としては、大学側として、早大 小松さん，豊橋技科大 栗本先生，企業側として日本ガイシから 1 名，東芝から 1 名を選出してほしい。

5-12. ISEIM 2014 について（高橋幹事補佐）

資料 DEI-208-10 及び 11 に基づき、ISEIM 2014 の開催計画が報告された。

- 2014 年 6 月 2 日(月)～5 日(木)に開催する。
- 会場は、朱鷺メッセとする(仮押さえ済み)

5-13. 技術委員会の運営について

- 2013 年 5 月に、長尾委員長から田中幹事で、委員長を交代する予定である。
- 長尾委員長は、1 号委員として、技術委員会に参加する予定である。
- 長尾委員長が 1 号委員として参加することにともない、1 号委員の定数が電気学会での規定数ぎりぎりになることから、幹事団より以下の提案があった。

- 委員の構成を，技術委員会への出席率などから検討させて頂き、出席率の低い委員については「オブザーバ委員」のような形で情報提供を続けていくなどの方策を検討する。
- 引継ぎ期間も含めて、委員長交代→1年後に幹事交代→更に1年後に幹事補佐交代のルーチンを作りたい。
- 編修委員は、1号委員の持ち回りとし、編修委員会の動きを技術委員会で適切にフォローできる方向としたい。
- これらの提案については、追って高橋幹事補佐より具体案を提案することとした。

６．次回(第209回)技術委員会の開催

第209回 誘電・絶縁材料技術委員会は、2013年5月29日(水)13:30から東京地区での開催とする。

－以上－